令和6年度 市民提案型事業報告会

吉備線開業120周年記念事業

吉備線を愛する会

吉備線120周年記念事業

記念事業の目的

令和6年11月15日に吉備線は開業120年を迎えます。吉備線の開通は総社市発展に欠かせない存在です。開業当時は河川中心であった物流が井堰のある湛井と岡山(山陽鉄道)を介して関西・東京方面とつながりました。高度成長期には岡山・倉敷のベッドタウンとなった総社市との都市間輸送の一役をこなしています。運転距離が短いこともあり、いち早く集中列車制御方式が導入されたり、駅の無人、ワンマン運転が採用されたりしています。現在でも通勤・通学の足として市民に親しまれる『吉備線』に目をむけてもらい、現在話題になっている交通機関の将来を考える一助となれば計画しました。

主催団体 吉備線を愛する会

代表 浅野智英 総社市総社3-1-7

共催 清音公民館(吉備線探訪ツアー)

クロスポイント(スタンプラリー)

井原鉄道株式会社(スタンプラリー)

総社市まちかど郷土館(吉備線120記念展)

協力 西日本旅客鉄道株式会社

井原鉄道株式会社

総社商工会議所

大国屋

後援 総社市観光協会

特別協力 二垣克己様

事業に参加、お手伝いをいただいた多くのみなさん

吉備線開業120周年 事業実施内容

開催日	実施内容
10月10日	講演会「吉備線120年のあゆみ」(倉敷公民館)
11月3日～	吉備線開業120周年記念展(12月25日までまちかど郷土館)
11月15日	吉備線開業記念式典
11月15日	記念列車の出発式
11月15日～	ヘッドマーク付きの記念列車の運行(12月6日まで)
11月15日～	井原線でヘッドマーク付きの列車の運行(11月24日まで)
11月15日～	吉備線スタンプラリー(1月中旬まで)
11月15日～	吉備線クイズラリー(1月中旬まで)
11月16日	記念イベントの開催(総社駅)
11月24日	探訪ツアー「幻の国鉄井原線」
11月28日	講演会「吉備線に片思い～ある初老のつぶやき～(図書館)
12月1日	探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」
12月8日	探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」
12月14日	講演会「吉備線沿線物語」
付帯事業	鉄カード(5種類)の作成 記念グッズ(マグカップ、トートバック、缶バッチ)の作成 ガイドブックの作成

講演会「吉備線120年のあゆみ」(倉敷公民館)

講演会「吉備線120年のあゆみ」(倉敷公民館)

講演会「吉備線120年のあゆみ」(倉敷公民館)

吉備線開業120周年記念展(まちかど郷土館)

吉備線開業120周年記念展(まちかど郷土館)

吉備線開業120周年記念式典

吉備線開業120周年記念式典

吉備線開業120周年記念式典

記念列車の出発式

記念列車の出発式

ヘッドマーク付きの記念列車の運行

ヘッドマーク付きの記念列車の運行

ヘッドマーク付きの記念列車の運行(井原鉄道)

ヘッドマーク付きの記念列車の運行(井原鉄道)

吉備線スタンプラリー

吉備線開業 120 周年記念

**鉄道が
好きになる** **スタンプラリー**

写真に写った施設と井原線、吉備線に乗ってスタンプを集めて、吉備線を愛する会特製の「鉄カード」を1枚ゲットしよう。鉄カードは3種類から選んでいただけます。

◇スタンプ用紙◇

鉄カード 全5種類あるよ!	乗った吉備線 キハ	乗った井原鉄道 IRT355-
総社市まちかど郷土館	クロスポイント	井原鉄道 矢掛駅

スタンプラリー
Wプレゼント 応募券

お名前	
住所	
☎	
年齢	
感想	

※お預かりした個人情報等は当プレゼント以外には使用しません。

吉備線と井原鉄道で乗った車両の番号とスタンプが3か所全部クリアの方はこの用紙について応募券に必要事項を記入してまちかど郷土館、クロスポイント、矢掛駅に設置してある応募箱へ投入してください。抽選で吉備線120周年記念グッズや総社市産品をプレゼントします。ただし、応募はおひとり様1回とします。クイズラリーとの重複はOKです。抽選は令和7年1月中旬を予定しています。

吉備線を愛する会

総社市まちかど郷土館

吉備線クイズラリー

吉備線開業 120 周年記念

吉備線クイズラリー

吉備線の 6 駅の掲示板上
はってある「クイズ」に答えて、
「鉄カード」をゲットしよう。

このラリー用紙に乗車した吉備線の
車両の番号を記入し、チェックポイント
でクイズを解いてください。

吉備線の車両番号と 6 か所のクイズ
の答えが正解された方には吉備線を愛

する会特製の「鉄カード」を 1 枚さしあげます。鉄カードは 3 種類から選んでいただけます。

全問クリアの方はこの用紙について応募券に必要事項を記入してまちかど郷土館（総社市総社 2 丁目）に設置してある応募箱へ投入してください。抽選で吉備線 120 周年記念グッズや総社市産品をプレゼントします。ただし、応募はおひとり様 1 回とします。スタンプラリーとの重複は OK です。抽選は令和 7 年 1 月中旬を予定しています。

クイズ開始は令和 6 年 11 月 15 日（時間は未定）から鉄カードが終了するまでです。

クイズ掲載場所は大安寺駅、備前一宮駅、備中高松駅、服部駅、東総社駅、総社駅の 6 駅を予定しています。クイズは小学生と中学生以上によって問題が異なります。ご注意ください。

◇解答用紙◇

解答コース	小学生・大人
乗った吉備線	キハ -

★クイズの答え★

大安寺	
備前一宮	
備中高松	
服部	
東総社	
総社	

吉備線を楽しむ会

クイズラリー W プレゼント 応募券

お名前	
住所	
☎	
年齢	
感想	

※お預かりした個人情報はおプレゼント以外には使用しません。

記念イベントの開催 (吉備の風笑吹き)

記念イベントの開催 (しょうくんの腹話術)

記念イベントの開催 (1 2期コンビ)

記念イベントの開催 (FONKEY・SEXTET)

記念イベントの開催 (ビンゴ大会)

記念イベントの開催（ヨーヨー釣り）

記念イベントの開催 (カマチャンズ)

記念イベントの開催 (こども神楽)

記念イベントの開催 (こども神楽)

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

探訪ツアー「幻の国鉄井原線とコントロールセンター」

講演会「吉備線に片思い～ある初老のつぶやき～(図書館)

講演会「吉備線に片思い～ある初老のつぶやき～(図書館)

講演会「吉備線に片思い～ある初老のつぶやき～(図書館)

探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」

探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」

探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」

探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」

探訪ツアー「吉備線のトリビアを探そう」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

探訪ツアー「総社近郊の廃線めぐり」

講演会「吉備線沿線物語」～地場産業と共に、とある一族のよもやまな話～

講演会「吉備線沿線物語」～地場産業と共に、とある一族のよもやまな話～

講演会「吉備線沿線物語」～地場産業と共に、とある一族のよもやまな話～

付帯事業 「鉄カード」の作成

鉄道会社が共通のデザインで作成するトレーディングカードで、地方ローカル線の魅力を知ってもらい、沿線を盛り上げるために制作されています。約70社が参加しており、全国各地の鉄道会社で発行されています

集めよう! 鉄カード 第24弾
Let's collection!

令和6年
10月スタート!

鉄道ファンの皆さま、
お待たせしました!
鉄カードができました!

吉備線を愛する会

明知鉄道 阿佐海岸鉄道 伊賀鉄道 いすみ鉄道 伊豆箱根鉄道 伊豆鉄道
IGRいわて銀河鉄道 えちぜん鉄道 遠州鉄道 長南電車 紀州鉄道
くま川鉄道 札幌市交通局 三陸鉄道 静岡鉄道 天竜浜名湖鉄道 豊橋鉄道
名古屋カイトウェイ 名古屋臨海鉄道 名古屋臨海高速鉄道 JR 日本軽便鉄道 JR 東日本千葉支社 肥前おれんし鉄道
広島電鉄 北越急行 北陸鉄道 水島臨海鉄道 養老鉄道

詳しくは「鉄カード」フェイスブックをチェック!!
<https://www.facebook.com/ZENKOKUTETSUKA/>

鉄カード事務局 明知鉄道株式会社 TEL 0573-54-4101
〒509-7703 岐阜県岐阜市明知町469-4

付帯事業 「鉄カード」の作成

付帯事業 記念グッズの作成

付帯事業 ガイドブックの作成

令和7年度 事業辞退について

令和7年度には鉄道への「マイレール意識」の向上を目指した活動を行うことを目的として、利用しやすい鉄道を考えてもらう場づくりと昨年好評だった清音公民館との共催による探訪ツアーの二本立てを考えていました。具体的には車椅子で吉備線、伯備線、井原鉄道、m o m o (低床路面電車)で乗り比べや総社(エレベーター)、東総社(跨線橋)、大安寺(構内踏切)ホーム間移動、朝夕の混雑度と1列車の編成両数などをボランティアや福祉委員、高校生などと一緒に検証し、結果をまとめて発表の場を作りたいと考えていました。この部分については行政(交通政策課)が積極的に行うことだろうという見解にいたりしました。他方、公民館との共催による探訪ツアーは鉄道と親しむという点から実施も容易で参加費も安価で実施できることから、提案型事業で行う必要もなくという結論になりました。以上の理由により事態をさせていただきます。

ご清聴

ありがとうございました

ました